
亡霊と不死者の時間

すたりむ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

亡霊と不死者の時間

【Nコード】

N4244BA

【作者名】

すたりむ

【あらすじ】

十九歳になったばかりのある日、高杉綾子は死んだ。そのはずだった。殺されたはずなのになぜか生きていた彼女は、それをきっかけとして横浜全体を揺るがしかねない事件へと巻き込まれていく。揺れ動く状況の中、彼女は果たして自分の生をどう定めて行くのだろうか？

序

十九歳になったばかりのある日、高杉綾子たかすぎあやこは死んだ。

完璧な不意打ちだった。

どのくらい完璧かって、なにしろ殺された彼女自身が相手の顔を
確認することもできなかったのだ。

うしろから重加速した精霊刀で左胸を一刺しし、そのまま肩のほ
うに強引に引っ張って抜き去り、返す刀で胴をまっふたつ。

まさに一瞬。振り向く隙すら与えない、完璧な暗殺術だった。

……あえて論評すれば、二刀目はちょっとオーバーキルだったん
じゃないかな。と思わなくもないけど。まあ相手はバケモノだし、
しょうがないよね。死んでなかったら怖いもんね。

そついうわけで、高杉綾子は死んだ。これは文句ない事実。

さて、ここで問題がひとつ。

じゃあ、このわたしは。

高杉綾子の記憶と、高杉綾子の姿形を持ち、高杉綾子のココロを
引きずっているこのわたしは、いったいなんなんだろうね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4244ba/>

亡霊と不死者の時間

2012年1月11日08時45分発行